



Neko Harbour

南緯64度51分 西経62度32分 Livingston島南岸

主な特徴

- 氷河の景観
- ゼンツーペンギン
- 大陸への上陸



概要

地形	ネコ湾海岸の小さな浜と露出した岩場は、そびえたつ山頂を背景とし、深いクレパスのある氷河に囲まれている。湾を囲む氷河は常に分離している。
動物相	繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン (<i>Pygoscelis papua</i>)、ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>)、ナンキョクオオトウゾクカモメ (<i>Catharacta spp.</i>)。定期的上陸：ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddelli</i>)。
植生	コケ類の繁茂。緑藻類のナンキョクカワノリ、氷藻類。
その他	アルゼンチンの避難小屋の跡が見られる。2010年の天候による損害のため除去され、片付けられた。

訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	野生動物への攪乱。

上陸要件

船舶*	乗客500名以下の船舶。1度に1隻までの船舶に限る。1日（午前0時から翌午前0時まで）3隻の船舶までで、そのうち乗客200名を超える船舶が2隻を超えないこと。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に下船は1度に100名以内。訪問者20名あたりガイド1名。所定の宿泊滞在の関係者を例外として、22時から4時（現地時間）の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。

訪問者用地区

上陸地区	望ましい上陸地点は巨礫の南西側にあり、小さな砂州近くにある礫状の浜である。砂州の内海側は氷河分離によって生じる波の危険があるため避けること。また、ペンギンコロニーの真西にある砂浜も、ペンギンが利用する経路であることから上陸は避けること。
閉鎖地区	なし。
ガイド付き徒歩地区	恒久雪のある土手上を露出した岩場まで登り氷河や上陸地点を望む場合は、ガイドを付けるか印（マーク）を付けること。周辺の雪や氷地帯が分離して危険なためである。
自由散策地区	訪問者は監視下で自由に散策できる。

訪問者の行動規範

陸上での行動	南極訪問者のための一般ガイドライン (<i>General Guidelines for Visitors to the Antarctic</i>) に従って行動すること。
注意事項	氷河の分離によって危険な波が生じることがあるので、注意が必要である。海岸を避け、高台に迅速に避難する準備をすること。高台の露出した岩場への道は特に深いクレパスがあり、非常に危険である。

採択：2006年
最終改訂：2013年

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



Neko Harbour

南緯64度51分 西経62度32分 Livingston島南岸



Neko Harbour上陸海岸

Neco Harbour

- ゼンツーペンギン
- ▲ ナンキョクオオトウソクカモメ
- 小屋

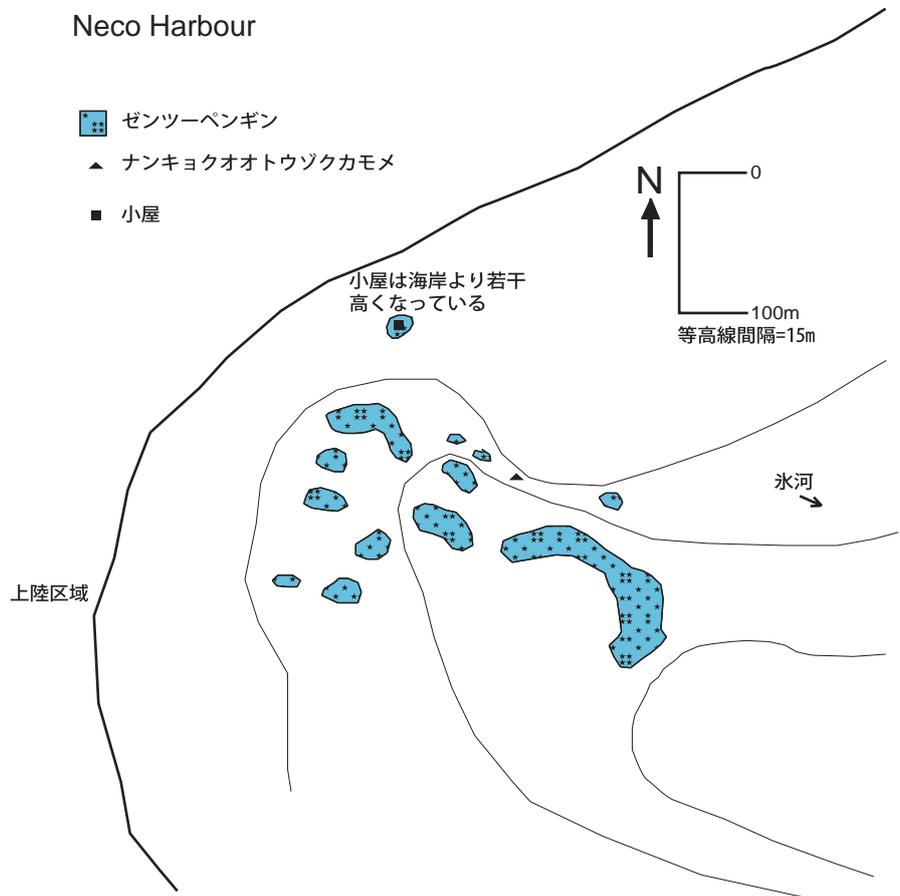


図1 避難小屋は、海岸より若干高さがあり、営巣中のペンギンが周囲を囲んでいる事も多い。